



# 双塔

カトリック新潟教会

2026年4月

No. 454

## 復活の朝

主任司祭 田中 丈夫

司祭叙階の恵みをいただいてから5年ぐらい経った頃に「創造の薫り」というタイトルで教会報の巻頭言を書いた。当時を振り返ってみると、肩に力が入っていたなあ、恐れを知らなかったなあと思う。しかしまた、漠然とした不安の中にもいた。それが何なのかははっきりとしていたわけではないが、社会の現実と、また本来あるべき生活と乖離した生き方をしているのではないかという心配と相まったものだったように思う。

《創造の薫り》『平家物語の一節が浮かんできた。「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響あり 娑羅双樹の花の色 盛者必衰の理を顕す 奢れる人も久しからず ただ春の夜の夢の如し 猛き者もつひには滅びぬ 偏に風の前の塵に同じ」正確に文章がわからないのでインターネットで「祇園精舎」を検索したら、たくさん「祇園精舎」が検索にかかった。「祇園精舎の鐘の声・・・」はこの現代社会に生きる多くの人々の心にこんなにも響き渡っているのかと、とても驚いた。このことは現代の世相を反映しているのではないか。今は豊かな生活、華やかな生活はしているが、いずれこのような奢れる生活にも終わりが来る、と多くの人々が感じているということではないか。この世は無常であり、今のこの世の繁栄は、いずれは必ず滅びる。栄枯盛衰はこの世の常であり、これからも歴史の中で繰り返され続けると、誰もが思っているということなのではないか。そんなふうにと考えると、なんだか、何不自由のない平和な顔で現代社会に生きる多くの人々の心中を木枯らしが吹いているようであり、人々の身震いが伝わってくるようであった。

平家物語の作者はこの世の歴史、歴史に登場した権力者の興亡を冷徹な目でみている。そして、この世は無常であり、盛者必衰であることを語っている。しかし、この作者はこの世で悩み苦しむ人々に対して、どのようなメッセージを発し、どのような未来を示しているのであろうか。もし、人々が、出口の見えない無常の世と盛者必衰の理だけしか読み取ることができずとすれば、人々の間に生じるのは焦燥と諦念であろう。そこには刹那的な生活臭、頹廢的雰囲気漂う。そこから立ち上るのは滅びの臭い、死の臭いである。

聖書も、世は無常であり、盛者必衰であるという視点を持っている。しかし、また聖書は、この世にあって悩み、苦しみ、叫ぶ人類を、救済する神の視点、キリストの視点があることも教えている。この神は、無から万物を創造し、人間をも創造し命を与え生かす神であり、善であり正義である。この神が人とともにあり、人を導くのである。この神のことは、人の世に漂う出口の見えない無常観を、払拭する。天地万物は神のことはによって創造されたのであり、生きとし生けるものはそのことばによっていのちを与えられ、生かされているのであると聖書は教えている。キリストのことは、神のことは、世を照らす光であると教えている。その神のことは、キリストのことは我々と共にあり、またそのことばによってもたらされる神の国がすぐそこにあることを、わたしたちキリスト者は知っている。それを信じ、そのことばを生きるのが私たちの信仰である。祇園精舎の鐘が響き渡るこの世にあって、それが焦燥と諦念のはびこる世の中ではあっても、永遠に変わることのない神のことは、キリストのことはを生きること、またその神のことはキリストのことはを伝えることが私たちの使命なのである。そこからは創造の薫り、生命の薫りが立ち上るのだ。』

読み返してみても、大事なことが抜けていることに気がついた。復活したイエスとの出会いである。

ヨハネ福音書はマグダラのマリアと復活したイエスの出会いを次のように伝えている。『週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った...。...マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」...。イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。』(ヨハネ 20 章 1~16)。二人の出会いの場には復活の薫りが立ち込めている。

# インフォメーション!

## ●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

## ●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

## ●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

## ●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

## ●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 4月20日(月)、5月18日(月)、6月29日(月)、7月13日(月)、9月28日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

※聖堂修繕工事期間中につき、自家用車等で来場の際の駐車については、現場の指示に従ってください。

## ●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

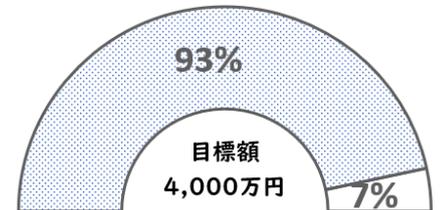
献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

## ●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2026年2月28日現在 累計額 3,730万円(進捗率：93%)

(1万円以下四捨五入)



## <その他献金活動の報告>

語らいの場・異人池茶の間 (9:30 ミサ後 研究室)

「異人池茶の間」の案内板に「コーヒーあります」と掲示されている日はドリップコーヒーを販売していますので、どうぞお立ち寄りください。

※ドリップコーヒー係のお手伝いを募集しています。お手伝いいただける方は小嶋（綾）までお声がけください。（カテドラル保存会）

※4/5(日)イースターエッグ2個入り 200円、クララ会クッキー500円で販売します。

収益は新潟カテドラル修繕に献金いたします。（総務部）

※復活祭ミサ中、聖堂修繕工事のための特別献金として第二献金の籠を回します。

ご協力をお願いします。（小教区評議会）

## ●インターナショナルデーのミサ時間を9:30から10:00に変更します（小教区評議会）

今年も、聖霊降臨の祭日にインターナショナルデーを行います。

より多くの方の参加が叶うよう、ミサの開始時間を10:00に繰り下げます。

(5月24日主日のミサ：7:00、10:00)

## ●司教様公式訪問日のお知らせ（小教区評議会）

今年度の司教様公式訪問日は6月28日に決定しました。

## 2026年4月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
2日(木)	聖木曜日（主の晩餐）・主の晩餐の夕べのミサ（19:00）洗足式、聖体礼拝
3日(金)	聖金曜日（主の受難、大斎・小斎、聖地のための献金）・ミサ10:00（初金） ・十字架の道行（15:00）　・主の受難の祭儀（19:00）
4日(土)	聖土曜日 復活徹夜祭　・19:00 ミサ
5日(日)	復活の主日（祭）　・祝賀会（9:30 ミサ後 センター1階、2階） ・英語ミサ（13:00）・清掃日（センター、外のトイレ：英語ミサ後）
11日(土)	・信仰養成講座（10:00 研究室／指導：町田神父）
12日(日)	復活節第2主日（神のいつくしみの主日） ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室）
16日(木)	・新潟教区司教座教会献堂記念日
19日(日)	復活節第3主日　・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後） ・国際協力部会（清掃後 研究室）　・広報部会（清掃後 事務室） ・総務部会（清掃後 研究室）　・ベトナム語ミサ（12:00）
25日(土)	聖マルコ福音記者（祝日）
26日(日)	復活節第4主日 世界召命祈願の日　・教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室） ・建設・記念事業委員会（9:30 ミサ後 研究室）

### ※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（第1日曜12:00） ベトナム語ミサ（第3日曜12:00）  
火曜～木曜、土曜（7:00） 金曜（10:00）

★朝ミサ7:00は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

### ※ 聖堂開堂時間

毎日9:00～18:00（都合により左記時間が変更となる場合がございます）

